

宜小発 第57号
令和5年5月30日

宜野湾市教育委員会
教育長 仲村 宗男 様

宜野湾市立宜野湾小学校
校長 甲斐 達二

指 定 研 究 計 画 書

1 研究主題名

異文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
～「触れる」「慣れる」「親しむ」外国語・外国語活動を通して～

2 研究主題設定の理由

本校は、宜野湾市の小学校英語教育課程特例校事業によるこれまでの取り組みを活かし、5～6年生は教科としての「外国語」の実施の他、3～4年生の「外国語活動」に加え、1、2年生から「英語に触れる・慣れる」ことを目的に、歌やダンス、チャンツ、絵本の読み聞かせなどの活動を通して、楽しく英語に触れさせてきた。その成果として、ALTの発音をまねして楽しく練習したり、ゲームやリスニング、場面設定での会話のやりとりを通して、ALTの先生に英語で伝えようとする児童が増えるなど、楽しく意欲的に活動に取り組むことができている。

一方、外国語を「話せるようになりたい」という意欲の高さは伺えるものの、間違ふことを恐れてしまい、学年が上がるにつれ、「話すのが恥ずかしい」「間違ったら笑われる」「頭が真っ白になってうまく聞き取れない」といった理由で外国語に対して苦手意識を持っている児童もいる。

これらのことから、苦手意識を払拭できるよう、低学年から自信をもって外国語に親しめるよう授業の工夫・改善を更に推進していく必要がある。そのためには、ALTとHRTで授業の打ち合わせを綿密に行ったり、研修に積極的に参加して外国語のスキルアップを図ったりして、児童・教職員どちらも自信をもち楽しく外国語に「触れる」「慣れる」「親しむ」ことを目指す。

3 学年・領域

小学校 1学年～4学年 【外国語活動】 (35時間)

5学年～6学年 【外国語】 (70時間)

※1～2年では音楽、図工、体育、総合的な学習の時間の時数計34～35時間を外国語活動にあてる。

4 研究主任と組織

【研究主任】	久保田 仁美
【外国語・国際理解担当】	砂川 恵美
【学年外国語・外国語活動担当】	各学年1名
【ALT】	平良 美乃、セラノシオルディア・エリザ

5 年間研究計画

- (1) 本校の外国語教育・外国語科のねらいを踏まえて外国語学習(外国語活動)の充実を図る。
 - ① 外国語(活動)の進め方や学習意義等について、学習開始前に全職員に対し、ALTによるオリエンテーションを実施。(4~5月)
 - ② 英語ルームでのルールの確認やあいさつの仕方、掲示物の工夫。
 - ③ T1(HRT)とT2(ALT)の教材研究・ミーティングの充実。
 - ④ 振り返りカードの具体的な書かせ方⇒振り返りの視点(【what「今日学んだこと」】【so what「思ったこと」】【now what「これから、やりたいこと(活用できそうか)】)の定着。
 - ⑤ クラスルームイングリッシュや基本的なあいさつなど、各学級でいつでも使用できるよう、校内LAN、Googlechrome、電子黒板、デジタル教科書等を整備。
- (2) 学期毎に複数回の部会(各学年外国語担当)を実施し、成果や課題を検討する。

(6月、11月、2月)
- (3) 英検 Jr. の実施
 - ① 実施期間 : 12月1日(金)~12月6日(水)
 - ② 対象学年 : 5年生(ブロンズ)、6年生(シルバー)
- (4) 小学校英会話形成的評価の実施
 - ① 実施期間 : 12月1日(金)~12月15日(金)
 - ② 対象学年 : 1~4年生
- (5) ALTにおける今後の行事・研修会
 - ① 指導主事によるALT英語授業参観① : 5月22日(月) 2~3校時
 - ② ALT授業実施に関するアンケート実施 : 7月
 - ③ ALT・HRT・英語科担当教諭合同研修会 : 9月
 - ④ 指導主事によるALT外国語授業参観②及び個人面談 : 10月~11月
 - ⑤ ALT情報交換会 : 11月

6 校長所見

本市人材育成に係る理念を踏まえ、国際理解及び外国語に対する本校職員の理解を深め、指導体制を確立し、指導の工夫改善を図り、外国語・国際理解教育の充実に資する。